

「東京都健康推進プラン21（第二次）」に関する新たな取組（案）

No.	健康づくり関係情報を集約したデータベースの作成	
1		
該当するプランの分野		今後の方向性
すべて		③健康づくり関係機関への支援の充実
各指標の中間評価	評価	指標
	b	健康格差の縮小
関連データ		
<p style="text-align: center;">65歳健康寿命</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>最小値自治体と最大値自治体との差</p> <p>■H22 ■H25 ■H28</p> <p>男性 女性</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準偏差</p> <p>■H22 ■H25 ■H28</p> <p>男性 女性</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">「65歳健康寿命(東京保健所長会方式)」(東京都福祉保健局)</p>		
説明	東京都内の65歳健康寿命の標準偏差、最小値と最大値の差は横ばいで、格差は改善されていない。	

No.	区市町村担当者連絡会の開催	
2		
該当するプランの分野		今後の方向性
すべて		③健康づくり関係機関への支援の充実
各指標の中間評価	評価	指標
	b	健康格差の縮小
関連データ		
同上		
説明	東京都内の65歳健康寿命の標準偏差、最小値と最大値の差は横ばいで、格差は改善されていない。	

No.	検索連動型広告																																					
3																																						
該当するプランの分野		今後の方向性																																				
糖尿病・メタボリックシンドローム		②ターゲット（対象）を絞った施策の展開																																				
各指標の中間評価	評価	指標																																				
	C	脂肪エネルギー比率が適正な範囲内（20%以上25%未満）にある人の割合（30-69歳）																																				
関連データ																																						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>脂肪エネルギー比率が適正な範囲内にある人の割合</p> <table border="1"> <caption>脂肪エネルギー比率が適正な範囲内にある人の割合</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>H19-21年</th> <th>H24-26年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>30%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>20%</td> <td>18%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>脂肪エネルギー比率が25%以上の人の割合（※1~29歳は30%以上）</p> <table border="1"> <caption>脂肪エネルギー比率が25%以上の人の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>H19~21</th> <th>H24~26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-9歳</td><td>35%</td><td>45%</td></tr> <tr><td>10-19歳</td><td>45%</td><td>48%</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>48%</td><td>45%</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>65%</td><td>65%</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>58%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>60%</td><td>70%</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>45%</td><td>55%</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>40%</td><td>60%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)から東京都分を再集計</p>			性別	H19-21年	H24-26年	男性	30%	25%	女性	20%	18%	年齢	H19~21	H24~26	1-9歳	35%	45%	10-19歳	45%	48%	20-29歳	48%	45%	30-39歳	65%	65%	40-49歳	58%	68%	50-59歳	60%	70%	60-69歳	45%	55%	70歳以上	40%	60%
性別	H19-21年	H24-26年																																				
男性	30%	25%																																				
女性	20%	18%																																				
年齢	H19~21	H24~26																																				
1-9歳	35%	45%																																				
10-19歳	45%	48%																																				
20-29歳	48%	45%																																				
30-39歳	65%	65%																																				
40-49歳	58%	68%																																				
50-59歳	60%	70%																																				
60-69歳	45%	55%																																				
70歳以上	40%	60%																																				
説明	適正な脂肪エネルギー比率の者の割合が減少傾向。特に、働き盛り層（30～59歳）の脂質摂取割合が多い。																																					

No.	都民の食生活支援に向けた環境整備																												
4																													
該当するプランの分野		今後の方向性																											
栄養・食生活		①ライフステージに応じた施策の展開 ②ターゲット（対象）を絞った施策の展開																											
各指標の中間評価	評価	指標																											
	C	脂肪エネルギー比率が適正な範囲内（20%以上25%未満）にある人の割合（30-69歳）																											
関連データ																													
<p>脂肪エネルギー比率が20%未満の人の割合</p> <table border="1"> <caption>脂肪エネルギー比率が20%未満の人の割合</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>H19~21</th> <th>H24~26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-9歳</td><td>5%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>10-19歳</td><td>5%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>10%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>12%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>20%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>18%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>22%</td><td>20%</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>32%</td><td>18%</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)から東京都分を再集計</p>			年齢	H19~21	H24~26	1-9歳	5%	5%	10-19歳	5%	3%	20-29歳	10%	10%	30-39歳	12%	12%	40-49歳	20%	10%	50-59歳	18%	12%	60-69歳	22%	20%	70歳以上	32%	18%
年齢	H19~21	H24~26																											
1-9歳	5%	5%																											
10-19歳	5%	3%																											
20-29歳	10%	10%																											
30-39歳	12%	12%																											
40-49歳	20%	10%																											
50-59歳	18%	12%																											
60-69歳	22%	20%																											
70歳以上	32%	18%																											
説明	60歳以上の年代においては、脂肪エネルギー比率20%未満の割合が高い。フレイル予防の観点からも、適正なエネルギー比率の食生活が望ましい。																												

No.	飲食店タッチパネル動画作成																																																				
5																																																					
該当するプランの分野		今後の方向性																																																			
栄養・食生活		②ターゲット（対象）を絞った施策の展開																																																			
各指標の中間評価	評価	指標																																																			
	a	野菜の摂取量（1日当たり）350g以上の人の割合（20歳以上）																																																			
	c	脂肪エネルギー比率が適正な範囲内（20%以上25%未満）にある人の割合（30-69歳）																																																			
関連データ																																																					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>野菜の摂取量350g以上の人の割合（年代別）</p> <table border="1"> <caption>野菜の摂取量350g以上の人の割合 (年代別)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>H19~21 (%)</th> <th>H24~26 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-19歳</td><td>22</td><td>32</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>22</td><td>18</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>28</td><td>25</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>26</td><td>25</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>31</td><td>45</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>35</td><td>41</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>33</td><td>43</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>脂肪エネルギー比率が25%以上の人の割合（※1~29歳は30%以上）</p> <table border="1"> <caption>脂肪エネルギー比率が25%以上の人の割合</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>H19~21 (%)</th> <th>H24~26 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-9歳</td><td>38</td><td>45</td></tr> <tr><td>10-19歳</td><td>45</td><td>48</td></tr> <tr><td>20-29歳</td><td>48</td><td>45</td></tr> <tr><td>30-39歳</td><td>65</td><td>65</td></tr> <tr><td>40-49歳</td><td>58</td><td>68</td></tr> <tr><td>50-59歳</td><td>62</td><td>68</td></tr> <tr><td>60-69歳</td><td>45</td><td>55</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>42</td><td>58</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p style="text-align: right;">「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)から東京都分を再集計</p>			年代	H19~21 (%)	H24~26 (%)	10-19歳	22	32	20-29歳	22	18	30-39歳	28	25	40-49歳	26	25	50-59歳	31	45	60-69歳	35	41	70歳以上	33	43	年代	H19~21 (%)	H24~26 (%)	1-9歳	38	45	10-19歳	45	48	20-29歳	48	45	30-39歳	65	65	40-49歳	58	68	50-59歳	62	68	60-69歳	45	55	70歳以上	42	58
年代	H19~21 (%)	H24~26 (%)																																																			
10-19歳	22	32																																																			
20-29歳	22	18																																																			
30-39歳	28	25																																																			
40-49歳	26	25																																																			
50-59歳	31	45																																																			
60-69歳	35	41																																																			
70歳以上	33	43																																																			
年代	H19~21 (%)	H24~26 (%)																																																			
1-9歳	38	45																																																			
10-19歳	45	48																																																			
20-29歳	48	45																																																			
30-39歳	65	65																																																			
40-49歳	58	68																																																			
50-59歳	62	68																																																			
60-69歳	45	55																																																			
70歳以上	42	58																																																			
説明	野菜摂取量は全体として増加傾向だが、20~49歳の野菜摂取量が少ない。適正な脂肪エネルギー比率の者の割合が減少傾向（No.3の右図参照）。特に、働き盛り層（30~59歳）の脂質摂取割合が多い。																																																				

No.	『TOKYO WALKING MAP』の拡充										
6											
該当するプランの分野		今後の方向性									
身体活動・運動		①ライフステージに応じた施策の展開 ②ターゲット（対象）を絞った施策の展開									
各指標の中間評価	評価	指標									
	c	歩数（1日当たり）が8,000歩以上の人の割合（20-64歳）									
関連データ											
<div style="text-align: center;"> <p>歩数が8000歩以上の人の割合(20 - 64歳)</p> <table border="1"> <caption>歩数が8000歩以上の人の割合(20 - 64歳)</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>平成19-21年 (%)</th> <th>平成24-26年 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>男性 (20~64歳)</td><td>52</td><td>48</td></tr> <tr><td>女性 (20~64歳)</td><td>45</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)から東京都分を再集計</p>			性別	平成19-21年 (%)	平成24-26年 (%)	男性 (20~64歳)	52	48	女性 (20~64歳)	45	40
性別	平成19-21年 (%)	平成24-26年 (%)									
男性 (20~64歳)	52	48									
女性 (20~64歳)	45	40									
説明	65~74歳の歩数は増えているが、20~64歳は減っている。										

No.	企業向けイベントでの普及啓発	
7		
該当するプランの分野		今後の方向性
休養		②ターゲット（対象）を絞った施策の展開
各指標の中間評価	評価	指標
	C	睡眠時間が十分、あるいはほぼ足りている人の割合（20歳以上） 眠れないことがまったくない、あるいはめったにない人の割合（20歳以上）
関連データ		
<p>睡眠時間が十分、あるいはほぼ足りている人の割合</p> <p>睡眠時間が十分、あるいはほぼ足りている人の割合</p> <p>「健康に関する世論調査」(東京都)</p>		
説明	指標データは悪化。年代別で見ると30代～50代の層が特に割合が低い。	

No.	職域健康促進サポート事業の拡充	
8		
該当するプランの分野		今後の方向性
休養		②ターゲット（対象）を絞った施策の展開
各指標の中間評価	評価	指標
	C	睡眠時間が十分、あるいはほぼ足りている人の割合（20歳以上） 眠れないことがまったくない、あるいはめったにない人の割合（20歳以上）
関連データ		
同上		
説明	指標データは悪化。年代別で見ると30代～50代の層が特に割合が低い。	

No.	民間団体と連携した適正飲酒に関する普及啓発										
9											
該当するプランの分野		今後の方向性									
飲酒		①ライフステージに応じた施策の展開 ②ターゲット（対象）を絞った施策の展開									
各指標の中間評価	評価	指標									
	b	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合）（20歳以上）									
関連データ											
<p>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年</th> <th>平成28年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td>14.1%</td> <td>15.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>適切な飲酒量にするために工夫している人の割合</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td>25.5%</td> <td>19.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>実際の飲酒量（女性） 1合未満の者の割合</p> <p>「健康に関する世論調査」(東京都)</p>				平成24年	平成28年	女性	14.1%	15.4%	女性	25.5%	19.0%
	平成24年	平成28年									
女性	14.1%	15.4%									
女性	25.5%	19.0%									
説明	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は増加傾向、適切な飲酒量にするために工夫している人の割合は減少傾向（女性のみ） 1回飲酒量が1合未満の割合については、20代女性が全年代別で最低										

No.	健康づくり推進員※1活動や企業の健康づくりの取組の普及	
10		
該当するプランの分野		今後の方向性
社会環境整備 高齢者の健康		①ライフステージに応じた施策の展開 ②ターゲット（対象）を絞った施策の展開 ③健康づくり関係機関への支援の充実
各指標の中間評価	評価	指標
	a	地域で活動している団体の数※2 ※2健康、子育て支援、高齢、障害、生涯学習等の各部署で把握できる団体（各部署の公共施設等に登録又は利用実績がある団体や、部署が活動を直接的・間接的に支援している団体）の数
関連データ		
<p>地域で活動している団体の数（高齢者人口千人当たりの数）</p> <p>東京都の実施する区市町村調査</p>		
説明	地域で活動している団体の数は増えているが、高齢者人口の伸びと比較すると低くなっている。そのため、高齢者千人当たりの団体数は低下している。	

※1 各自治体（区市町村）にて実施する保健事業への協力や自主的な活動等を通じて、地域における健康づくりの取組を支援するボランティア等を指す。